



Kagawa Cyber Security Information

香川県サイバーセキュリティ連絡ネットワーク通信Vol.70

クレジットカード不正利用

「クレジットカードの明細に、利用した覚えのない料金請求があった」
「クレジットカード会社から不正利用されているとの連絡を受けた」との相談を受けることがあります。

クレジットカード情報を盗み取られ、悪用されている可能性があります。

主な原因

◎ フィッシング

金融機関、宅配業者、通信業者、通販業者等を騙ったメールやSMSに添付されたURLをクリックさせ、クレジットカード番号等を入力させ、悪用するもの。

◎ 偽ショッピングサイト

偽ショッピングサイトを設け、代金の支払いとしてクレジットカード番号等を入力させ、悪用するもの。(購入したはずの商品は届かない)

◎ スパイウェア

パソコンやスマートフォン等の端末に不正なソフトやアプリをインストールさせ、端末内のデータ等を流出させ、クレジットカード情報を悪用するもの。

◎ スキミング

クレジットカード情報を読み取る「スキマー」と呼ばれる機械を使って、カードの磁気データから情報を盗み、悪用するもの。

◎ 事業者が保有する個人情報の流出

事業者が管理するパソコン等が不正アクセス等の被害にあり、個人情報が増え、クレジットカード情報を悪用するもの。

巧妙な手口で、クレジットカード情報を盗みとろうとします。



対処法

被害拡大の防止に努めてください。

- **クレジットカード会社へ連絡**し、カードの利用停止を依頼し、身に覚えのない支払いの措置等について相談する。

(警察への届出が必要ある旨指示された場合、関係資料を用意し、住所地を管轄する警察署へ届出をする)

- 情報が悪用されたアカウント等がわかるのであれば、**パスワードを変更する**等をし、同じID・パスワードを使っている他のサービスがあれば、そのパスワードについても変更する。
- 不審なソフトやアプリをインストールした端末があれば、ネットワークから切り離し、**不審なソフトをアンインストール**をしたり、**端末をウイルススキャン**する。

